

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	3393600063		
法人名	有限会社 フロンティア		
事業所名	グループホームたいら金時		
所在地	〒709-4334 岡山県勝田郡勝央町平1119		
自己評価作成日	令和3年9月20日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/33/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JkyosyoCd=3393600063-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/33/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JkyosyoCd=3393600063-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	株式会社 One More Smile		
所在地	岡山県玉野市迫間2481-7		
訪問調査日	令和3年11月8日		

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

南に面した明るく広々としたホールからは、春は滝川岸辺の桜並木、秋には金時祭りの花火がホールから楽しみ、四季折々の勝央町の街並みが眺望出来る環境に立地しています。施設の庭には薔薇や季節の花が一年中咲き、利用者様は花を生けたり散歩したりと楽しんでいます。排泄サイクルの把握をし、下剤は最小限に押さえ、食事やヨーグルト・きな粉・運動を中心に排便を促し、午前中は特にリハビリ運動の継続に力を入れ、下肢筋力・身体機能の向上に努め、継続する事で自信に繋がりが、活動量が増え、心身共に活気溢れる生活をされています。又第2の我が家として個々に自分が出来る役割を持って頂き、笑顔で穏やかな時間を過ごせる様に、職員は明るく優しい介護をモットーに日々支援をさせて頂いています。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

いつまでも健康で過ごして欲しいとの願いから、自然な便通とリハビリに力を入れている。排便が無い場合はなるべく下剤を服用せず、きなこを牛乳やヨーグルトに加える等の工夫をしている。毎朝、体操や踏み台昇降等を実施し、筋力維持に努めている。職員手作りの踏み台昇降板を用い、一緒に数をかぞえながらそれぞれのペースに合わせて一人ずつ順番に行っている。他施設から転職した職員からも、「他の事業所より筋力維持への取り組みが日常的に出来ている」との感想があった。コロナ禍で外出ができなくなっているが、職員は、少しでも季節を感じてもらえるように、桜やつつじや紅葉の枝を持ち込み、ホールに飾っている。天井を突く程の立派な枝振りを眺めて、利用者から「こんなに間近で見る事がないので嬉しい」と笑顔があふれていた。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念 “第2の我が家として自分らしい生活を送る事が出来る様に支援します”を玄関に掲げ、職員会議で周知・共有し、ケアに迷った時は基本に戻り、対応するように努めています。	職員は利用者が「自分らしい生活」を送れるように支援をしている。利用者が送ってきた生活スタイルを継続し、行事等の参加も無理強いない。家も良いが、「第2の我が家」も良いと言ってもらえる支援に努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	開かれた施設として地域の人との交流は大切にしてきましたが、去年・今年はコロナウイルス感染症の拡大で行事が中止となり、交流が出来ない中、唯一地域のクリーン作戦には必ず参加し交流を図っています。	近所の人々が、手作りの辛子漬けや自家製の甘栗を持って来てくれ、利用者からも好評である。年4回実施される地域のクリーン作戦に参加し、新しく町内に加わった人達とも交流を図っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	愛育委員の視察・中学生のボランティア等も全て中止となり、施設内でのみの生活をしている事を見て頂くだけとなっています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族様・区長・民生委員・市町村に声を掛けさせて頂き、利用者様の様子や行事・予定を報告をし、意見、要望を聞かせて頂きサービス向上に反映していた事も、去年・今年はその会議も出来ていないです。	コロナ禍で運営推進会議の開催が中止になる迄は、区長、民生委員、町の担当者、家族が参加し、事業所の状況について報告し、参加者から意見をもらいサービス向上に活かしていた。12月から再開の予定である。	12月から運営推進会議を再開し、少人数で実施する予定。不参加の人たちにも議事録を送付し、事業所の取組を伝えて欲しい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村主催で、半年に1回程度地域密着型生活介護管理者会議に参加していましたが、今年は初めてのコロナ感染症での対応策等の情報交換をして参考にしています。	地域密着型生活介護管理者会議に参加し、事業所の実情を伝える機会がある。その際、町の担当者からも色々と情報をもらえる。運営面でも色々と相談に乗ってもらえる。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施設を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束適正化に関する委員会を3か月に1回開催し、職員会議で報告共有しています。身体拘束防止研修を職員会議で開催し、施設では身体拘束0でケアしています。	帰宅願望のある利用者が、ホール内を落ち着かない様子で歩き出すと、傍らに行き話を聞く。出勤しようとする利用者から「鞆が無い」と言われれば、「今度家族に持って来てもらいますね」と共感する姿勢を忘れない。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員会議で虐待防止について研修し、虐待防止マニュアルを事務所に設置しています。虐待・拘束が利用者の精神身体状態に大きな影響を与える事を職員に周知しています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護制度・日常自立支援事業や成年後見制度については現在は、該当者はいませんが、今後どのような対応も出来る様に研修対応していきます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約、解約、改定時には利用者様、家族にその都度、十分な説明をさせて頂き、理解了解を頂いています。今後も、不安や疑問点にその都度しっかりと説明させて頂きます。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議・面会もままならぬ現在、家族様との関わりは月に一度のお手紙と電話で意見要望を聞かせて頂き、運営に反映させて頂いています。	苦渋の決断で施設に両親を預けている家族に代わり、家族と利用者の希望に沿いたいとの思いで日々支援をしている。役場の職員も家族と交流する機会があり、要望等を事業所へ知らせてくれ対応をしている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	必要時、職員会議で、意見交換、提案を聞き業務に生かし、より良い住まいを作れるように職員の個別面談等でも意見を聞き反映するようにしています。	現在、昼の休憩中に職員間でお茶を飲みながら、色々と話をしている。また、半年に一度個別面談を実施し、皆の前で話をしにくい事も言える機会となっている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	日頃の勤務状態を把握すると共に、職員自己評価表・管理者評価表で、評価が良いと昇給がある、頑張れば認めてくれるとの意識を持てるように努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	介護経験や性格により個人差があり、施設職員全体のレベル向上を目指し、日頃の業務の中研修・指導・勉強会をしています。職員に指導・指摘が出来る関係性を作る外部研修は出来るだけ参加を促している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との交流はコロナウイルスの為持てなく、交流の場勉強会がない為、独自の勉強会を持ち、サービスの質の向上の取り組みをしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初期面接時には良い印象を持って頂けるように真摯に且つ丁寧な対応を心掛けています。困っている事等の要望は散歩等の個別時間で聞かせて頂き、信頼関係を構築するように努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	最初の面会時、介護計画説明時には、笑顔で真摯な姿勢で対応させて頂いています。家族の方の要望も聞かせて頂き、家族様への支援にも心を配っています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族様と利用者様の要望をそれぞれ聞かせて頂き、すり合わせをしながら、今一番必要だと思われるサービスを介護計画に優先に考え作成しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人様と共に過ごし支えあう関係は施設として目指す所で、利用者様は人生の先輩であり教えて頂く所は多くあります。共に生活をさせて頂ける関係が築ける様に努力しています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員が出来る事、医療が出来る事、家族様しか出来ない事がありますが普段から3者の信頼関係を構築・連携して3者で利用者様を支えていきたいと常に考えています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域のボランティアの訪問、地域でのお祭りに参加、芋煮会では地域の人との交流を図ってきましたが去年・今年は利用者の感染予防の為、交流は少なくなっています。	コロナ禍で面会を中止し、ベランダから様子を見てもらっていたが、現在はガラス越しに面会をしている。利用者の写真をたよりで送っているが、動画で送ることもある。その動画を、嫁が県外に住む家族にも送ってくれている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	家族のように暮らしていますが、その中で孤立する人がないように声掛けさせ頂く中お互い出来る人が出来ない人の世話をしたりと、皆様の関係は良好です。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後も家族様方から葉書届き、ご利用者様の様子を聞かせて下さり、こちらからも今おられる施設に面会に行ったりして交流を図らせて頂いています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	1人ひとりの思いや希望を聴き思いに気付く、その人らしい生活が出来る様に努めています。特にその人の生活リズムは尊重して支援させて頂いています。	誰かと居たい時もあれば、独りになりたい時もあるので、その日の様子を見ながら対応をしている。表情が暗い時は、傍らに寄り添いスキンシップを図っている。車いすの利用者をトイレへ誘導している時、「私も連れて行って欲しい」と言われる場合は「一緒に歩きますか」と中庭を散歩する。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴、家族関係、病歴等をフェースシートに記載し、サービス経過等個人用ファイルに閉じ職員会議の場を担当者会議とし職員の意見を反映しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	居室担当を決め利用者の日頃の生活から出来る事を話し合い、役割として毎日継続出来るように支援し自信に繋げ活動範囲を広げて頂けるようにしています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	居室担当者から利用者様の今必要なプランの意見を聞いたり、職員会議の中で担当者会議を開き全員参加で話し合い、介護計画を作成させて頂いています。	利用者が日課として出来る事をサービス内容に掲げている。半年毎にモニタリングを実施し、担当者会議で話し合い、介護計画を作成している。職員会議には、できるだけ職員に参加してもらい、多くの意見を取り入れている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子・ケアの実践・結果・気づき等は個別記録に記録し、職員会議の場・日常の業務の中で話し合い、今後の介護計画書に反映するように努めています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個々の体調・状況も違い、暮らしの要望・家族様の要望を考慮し、希望に沿った支援で穏やかな生活が出来る様に取り組み。一緒に買い物・散歩等で気分転換を図っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の資源を使う事が出来ない為、施設内での行事・楽しみを提供しています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人様、家族様の要望で在宅からの主治医を継続されている人が多いです。多職種医連携研修等に参加して医師との交流を図っている、受診、往診あり。定期受診は緊急時以外は家族様で対応して頂いています。	定期受診は家族にお願いしているが、車いす利用者などは一緒に通院支援をしている。ほとんどの利用者の主治医は往診してくれる。主治医は利用者様に「大丈夫ですか」と優しく声を掛け、帰り際は握手を交わしてくれる。思いを汲んでくれる医師に信頼を寄せている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	1/W訪問看護あり、利用者様の様子、気になる事を相談出来る関係があり、利用者様の異常時にも対応、指示・必要時には来訪もあり24時間対応可能です。。必要時には受診を勧められ対応をしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、情報提供書を提出し連携を図り、定期的に面会に行き医療関係者と状態の説明を聞かせて頂く。退院時には添付書を頂き安心して元の生活に戻れるように支援させて頂いています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時に看取り介護指針について・看取り介護の意向確認・終末期の在り方を家族様と話し合い了解・同意書を頂いています。その折施設で出来る事の説明は十分にさせて頂いています。家族様・医療・職員でチームで看取りケアをします。	継続的な医療行為が必要でなければ、事業所で終末期の対応をしている旨を、入居時に説明している。誤嚥が多くなった利用者も、その都度病院へ搬送しながら対応し、最期まで支援する方針だったが、一刻を争う場合もあり、家族からの申出で転移したケースもある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の対応マニュアルがあり、その都度の対応が出来る様に、定期的に研修・演習をしています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害はいつ発生するかわからない為、安全な生活確保の為、災害時の対応研修に参加、全員が対応出来るよう又地域の人・消防・消防設備様に避難訓練への参加を要請してその都度指導を受けています。	火災報知機の近くにホワイトボードを置き、毎日利用者と職員の数等を記載し、落ち着いて通報できるようにしている。今年の10月に消防署の指導の下避難訓練を実施した。消防署への通報内容の字が小さいので、大きく書き直した方が良いとのアドバイスをもらった。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者の立場に立ち、優しい声掛け・対応を心掛ける様に職員に周知しています。又人生の先輩として人格や誇りを損ねないように気づかい、色々と教えて頂く事が多いです	写真の掲載を希望しない利用者には、全員の写真が載った「たいら金時たより」の顔を隠す配慮をしている。着替えの際は、居室の扉を閉め、「ズボンを下げさせてもらって良いですか」と声を掛け、了承を得ながら介助をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中、入浴時に衣類選び、他の事にも自己決定が出来るような言葉の工夫をしています。自分の家で生活をしているように、自由に時間を使って頂き、自分らしい生活を支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	理念第2の我が家として自分らしい生活が送れるよう若い頃得意だった事が自信を持って出来るように支援し業務より利用者様優先で「ちょっと待って」は禁句とし「ハイ行きます」を徹底しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	敬老会・お誕生日・外出時には一緒に衣類を選び、「綺麗ですね」「素敵ですね」等ささいな事にも気づきと声かけをさせて頂いています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は一番の楽しみである為普段から食べたい物の把握をし提供しています。又季節の物を提供するよう心掛けています。畑から収穫した野菜で下準備を一緒にして料理を楽しんでいます。	食べたい物を尋ねてもなかなか言葉が出てこないで、数種類の食べ物を言いながら、どれが食べたいか確認をしている。食材の見た目や食感も大事にし、できるだけ形状を残して提供をしている。食品の美味しさを左右する食感も大切にしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	嗜好を聞きながら、食事量、水分量摂取表に記録し、職員全員が一日の水分量を把握し、水分摂取量の少ない利用者には何回かに分け色々な飲み物を工夫して摂取出来る様に努力しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後個々に応じた口腔ケアは確実にこなしています。自立で出来る人は声掛け、見直しが必要な人は最後に一部介助、全く出来ない人には介助で個々の力に応じて口腔ケアをしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を記入して個人の排泄パターンは職員が共有出来るようにしています。 なるべくオシメにならないように、夜間もトイレ誘導でトイレでの排泄を促しています。	食事の前等は、声掛けして誘導をしている。誘導し便座に座ってもらった後は、トイレの外で見守っている。入院中はおしめをしていた利用者も、リハビリを兼ねて夜間もトイレ誘導をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の予防として、レクリエーションでリズムリハビリ体操の運動と、水分・食材に気を付けると共に、毎日手作りヨーグルト・牛乳・排便がない人にはきな粉を追加するべく下剤を使用しないようにしています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	今は週間予定表で入浴を提供しています。入浴回数は利用者様により違いますが、お風呂の好きな人には回数多くしています。個人のペースで介助し、ゆっくりと会話・交流が出来る時間としています。	入浴拒否のある利用者には無理強いせず、穏やかに話をして納得してから入浴してもらっている。介助が不要だった風呂好きの利用者が、介助の必要な状態となったが、他の人より多い回数を継続支援している。別の家族から柚子湯にと沢山の柚子をもらった。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	1人ひとりの生活習慣を尊重しています、起床時間・朝食時間はさまざまですが、昼食・夕食は全員で食べられます。入眠も個々の時間に沿って対応しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お薬手帳、処方箋は職員がいつでも確認出来る事務所へ保管しています。今後職員会議等で服薬支援の勉強会も取り入れていきたいと思っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴や得意な事は個人ファイルに記載し職員で共有。得意な分野又は、出来る事の範囲で役割を持って頂き生き生きと生活が出来様に支援させて頂いています。(編み物・野菜作り・盆栽)		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	現在はコロナウイルス蔓延の為、外出は控えています。中庭や施設周辺の散歩などは気分転換の為にも支援させて頂いています。	遠方への外出は難しいが、中庭や施設周辺の散歩は継続している。シャボン玉遊び等を駐車場で、外へ出る機会を作っている。ドライブが好きな利用者とその家族からの要望で、車外に出ないようにお願いした上で、家族とのドライブを再開している。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭の個人持ちは希望がなく、家族様が金銭管理をされており、必要な物を購入して持って来られています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の希望がある時は電話が出来る様に、又手紙のやり取りが可能な方には支援をしています。 毎月利用者様の様子を家族様に手紙でお伝えしています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	天気の良い日はベランダ庭に自由に出られ野菜花作り・お茶で談話します。ホール内は季節を感じられる展示物を掲示、ホールは南向きで明るく開放感があり憩いの場になっています。庭の花を玄関ホールに生けている	事業所周辺に季節の花を植えている。庭に咲いた花や職員や家族が持って来てくれた果物等を飾り、季節を感じてもらっている。猫等のぬいぐるみを廊下の手すりに飾り、リハビリが楽しめる工夫をしている。温度管理も行い、快適に過ごせるようにしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室で過す事が好きな人、一人は寂しい人、話好きな人、聞き役の人と個々の思い、皆様が居心地よく暮らして頂ける様に個別に支援をさせて頂いています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使われていた、お茶碗・マグカップ又家具等はご家族様が入所時に持ち込まれ、利用者様と配置されます。ぬいぐるみ・ご主人様の仏壇を持って来られている利用者様もおられました。	入居時に、使い慣れた家具や写真等の持ち込みを依頼し、住み慣れた環境に少しでも近づくよう工夫している。家具の配置やベッドの向きなど、これまでの生活の継続に努めている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	日常生活の中で動線に物を置かない、歩行器、車椅子の置き場所等危機感を持ち環境を整えた上で、出来ない部分のみの介助で自分で出来た事が自信になり活動範囲が広がるような自立した生活を支援しています。		